

親子で本に触れ合う1日 図書館まつり

市図書館では、「図書館まつり」を1月14日にカルチャープレスで開催しました。読書感想画コンクール表彰式を行ったほか、会場には読書感想画の展示、大型絵本の読み聞かせ、飛び出す絵本などの展示、ブックリサイクル、ミニ絵本作り体験などさまざまな催しを用意。

ミニ絵本作りでは、参加した親子が思い思いの絵本作りに挑戦。人吉を舞台にしたお話を作った人吉東小4年の吉松和華さんは「自分で本を作るのは初めてだったので楽しかった」と話していました。



絵を見て物語を書き、色を塗って自分だけの絵本作りに挑戦

食べて飲んで飲食店を応援！ GO！酒飲スタンプラリー

市内の飲食店を巡り、スマホでスタンプを集めるイベント「GO！酒飲スタンプラリー」が開催中です。新型コロナウイルス感染症と豪雨災害で影響を受けた市内の飲食店の復興を目指すため、人吉商工会議所が主催するもの。

特設ページで参加登録後、対象店舗で税込み1500円以上の飲食を楽しみ、店に設置されている2次元コードをスマホで読み取るとスタンプがもらえます。2月19日まで開催。ぜひご参加ください。



▲特設ページ



スタンプを3個集めると食事券が当たる抽選に応募できる

つながる支援の輪 災害時における移動手段の確保に関する協定

東日本大震災で被災した宮城県石巻市に多くの寄付車が集まったことをきっかけに設立された一般社団法人カーシェアリング協会と本市は、「災害時における被災者等の移動手段の確保に関する協定」を結び、1月13日に協定書調印式を行いました。寄付された車を災害時に被災者や支援団体へ一定期間無料で貸し出すというもの。

吉澤武彦代表理事は「起こってほしくないが、万が一のことがあっても前回支援したときよりも迅速な支援ができるようになる」と話しました。



令和2年7月豪雨時は約300件の無料貸し出しを行った

子どもたちの健やかな1年願う 大畑子ども山の神祭り

大畑町に伝わる伝統行事「大畑子ども山の神祭り」が、1月3日に同町の山中で開催されました。この祭りは江戸時代から続く珍しい行事で、その昔、女の子が神隠しに遭ったため、山の神を鎮めるために始まったと伝えられています。

参加した男児6人は、神事後、しきたりに従いイワシや赤飯を竹の皿や箸でいただき、腹ごしらえを終えると、紅白に分かれてチャンバラ合戦！手作りの木刀を手に走り回り、元気な声を山中に響かせていました。



元気いっぱいのチャンバラは昔から変わらない風景

安心して出産できる地域を 南九州中部地域医療連携協議会設立総会

人吉球磨地域や隣接する宮崎県えびの市、鹿児島県伊佐市の産科医師不足が深刻な状況であることを踏まえ、地域産科中核病院である人吉医療センターに産科医師を確保するため、「南九州中部地域医療連携協議会」を1月12日に設立しました。各市町村長や医師会などで構成され、会長には松岡市長が選任されました。

今後は医師会や熊本大学、宮崎大学、鹿児島大学の医学部へ要望書を提出するなどして南九州中部地域の産科医師の確保を目指します。



各地域の産科婦人科医師の状況や課題を共有

3年ぶりに人気講座開催！ 本格キムチ・豚キムチ鍋作り講座

韓国出身で人吉旅館の女将・堀尾里美さんを講師に迎え、1月17日に人吉旅館で本格キムチ・豚キムチ鍋作り講座が開催されました。外国の食文化を通して多文化共生社会を推進するため、人吉市国際交流協会が主催したもの。

本格キムチ作りに欠かせない韓国料理の合わせ調味料ヤンニョムを堀尾さんが作り、参加者が白菜に塗り込むとキムチが完成。その後、堀尾さんは豚キムチ鍋のおいしい作り方を説明しながら調理し、参加者に振舞いました。



白菜の葉を一枚一枚めくって丁寧にヤンニョムを塗り込む

球磨川に活躍を誓う 新年カヌーの初漕ぎ会

朝霧が立ち込める球磨川で、1月3日に新春恒例のカヌーの初漕ぎ会が行われました。市カヌー協会と人吉球磨カヌー部後援会が主催するもので、人吉高と球磨工高のカヌー部員などが参加。球磨川くだり発船場（下新町）にある水天宮で安全を祈願した後、約20艇のカヌーを浮かべ、部員たちは元気いっぱいパドルをこぎ出しました。

球磨工高カヌー部主将の岡本悠心さんは、「県の総合体育大会では、みんなで良い結果を残して総合優勝を目指したい」と抱負を語りました。



初こぎを楽しんだカヌー部員ら

車も一緒に避難できるように 災害時の施設使用等の協力に関する協定

全国チェーン型パチンコホールを展開する株式会社ダイナムの熊本人吉店（下林町）と本市は「災害時の施設使用等の協力に関する協定」を結び、1月16日に協定式を行いました。やむを得ない事情で自家用車などで避難する車中泊者の安全確保のため、同店の駐車場の一部を一時的な避難場所として提供するというもの。

令和2年7月豪雨時も被災者にスペースを貸し出した同店の進智啓ストアマネージャーは「少しでも人吉の役に立てたうれしい」と話しました。



500台以上の車が止められる駐車場の一部を貸し出す